

令和6年度

多良木町下水道事業会計決算審査意見書

多良木町監査委員

令和6年度 多良木町下水道事業会計決算審査意見書

第1 審査概要

1 審査の期間

令和7年7月7日

2 審査場所

監査室

3 審査の概要

令和6年度多良木町下水道事業会計決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、貸借対照表、剰余金処分計算書、その他関係諸表の提示を求め、①決算書類が地方公営企業法等に準拠して作成されているか、②企業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているか、③事業が地方公営企業法第3条に規定する「企業の経済性を発揮し公共の福祉を増進する」という原則に則り運営されているか等に審査の主眼をおいて実施した。

なお、多良木町下水道事業会計は、令和6年度から複式簿記、発生主義の公営企業会計へ移行した。

第2 審査結果について

1 決算諸表について

審査に付された決算諸表は、地方公営企業法等に準拠して作成されており、事業の経営成績及び下水道事業の経営成績及び財政状態も正しく表示されている。また、地方公営企業法第3条に規定する「企業の経済性を発揮し公共の福祉を増進する」という原則に則り運営されているものと認められる。

2 下水道事業の概要について

令和6年度末の下水道の整備済面積は331.7ha、下水道接続人口は4,718人、接続済戸数は1,786戸であり、下水道普及率は65.49%（前年度65.67%）で、前年度と比較すると0.18ポイント減少している。

3 令和6年度収支決算状況について

令和6年度は7,849千円の純利益を確保しているが、町からの補助金126,259千円を営業外収益として受け入れているためであり、補助金なしでの経営は厳しい状況にある。

(1) 収入総額

令和6年度の収入総額は、312,741千円（前年度311,044千円）で、1,697千円の増であり、主な収入は使用料118,381千円（前年度122,745千円）で37.9%、一般会計からの補助金126,259千円（前年度158,378千円）で40.4%となっている。

(2) 支出総額

令和6年度の支出総額は、309,673千円（前年度275,133千円）で、18,570千円

の増であり、主な支出は污水管渠費16,312千円（5.3%）、総係費8,051千円（2.6%）、流域下水道維持管理負担金90,765千円（29.3%）、支払利息16,255千円（5.2%）となっている。

(3) 営業利益

営業利益は△157,193千円で、事業収入で事業費用を賄えていない状況にある。

(4) 純利益

純利益は、7,894千円（前年度30,415千円）で前年度に比べ21,653千円の増収減益となっている。

$$\begin{array}{rcl} \text{(事業収益)} & \text{(事業費用)} & \text{(当年度純利益)} \\ 301,552\text{千円} & - 293,703\text{千円} & = 7,849\text{千円} \end{array}$$

※（損益計算書…別表1）

4 経営状況について

(1) 経営の健全性・効率性

ア 経常収支比率

経常収支比率は、当該年度において、料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標である。当該指標は、単年度の収支が黒字であることを示す100%以上となっていることが必要であり、数値が100%未満の場合、単年度の収支が赤字であることを示しているため、経営改善に向けた取り組みが必要となる。

令和6年度の本町の経常収支比率は102.7%で健全経営の水準とされる100%を上回っている。今後は分担金納付者の減少による減収や管路老朽化に伴う修繕等及び維持管理が増加することが推測されるため、使用料の改定も見据えた収入確保、支出の抑制に努める必要がある。

※ 経常収支比率の算出式

$$\text{経常収益}(301,552\text{千円}) / \text{経常費用}(293,703\text{千円}) \times 100 = 102.7\%$$

イ 経費回収率

経費回収率は、下水道事業に係る費用を下水道使用料でどの程度で賄われているかを示す指標であり、独立採算制を原則とする下水道事業において、この回収率は経営の健全性を示す重要な指標である。

当該指標は、使用料単価と污水处理に係る原価との関係を見るものであり、経費回収率が100%を上回っている場合、污水处理に係る費用が使用料収入で賄われていることを意味する。数値が100%を下回っている場合、污水处理に係る費用が使用料以外の収入により賄われていることを意味するため、適正な使用料収入の確保及び污水处理費の削減が必要である。

令和6年度の本町の経費回収率は93.42%で100%を下回っており、事業に必要な費用を下水道使用料で賄えていないことを示しているため、下水道への接続

率向上及び使用料の見直しが必要である。

※ 経費回収率

下水道使用料（107,619千円）

/汚水処理費「公費負担分を除く」（115,196千円）×100=93.42%

(2) 老朽化の状況

ア 有形固定資産減価償却率

有形固定資産減価償却率は、有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度合いを示している。

当該指標については、明確な数値基準はないが、一般的に、数値が高いほど、法定耐用年数に近い資産が多いことを示しており、将来の施設の更新等の必要性を推測することが可能である。

令和6年度の本町の有形固定資産減価償却率は3.37%で、施設の老朽化は進んでいない。

イ 管渠改善率

その年度に更新した管渠延長の割合を示す指標で管渠の更新ペースや状況を把握できる。当該指標については明確な数値基準はないが、数値が2%の場合、すべての管路を更新するのに50年かかる更新ペースであることが把握できる。数値が低い場合、更新投資の見通しを含め、対外的に説明できることが求められる。

なお、本町の令和6年度の管渠改善率は、耐用年数を経過した管渠はないため0.0%である。

第3 監査委員意見

1 本町の下水道事業の現状

令和6年度の下水道事業の収支決算は7,849千円の黒字であるが、収入面で多良木町一般会計からの補助金に依存している状況にある。また、使用料単価（141.31円）が低く設定されており、国の目安である最低単価150円を下回っている。

なお、施設面では、法定耐用年数に達するまでは、まだ相当の期間があるため大規模な改修計画等の予定はない。

2 今後の運営について

本町においては、直近での改修・改築の計画はなく、起債残高も計画的な償還により減少傾向にあるが、当面は一般会計からの補助金に依存せざるを得ない状況が続くと見込まれる。

今後の運営に当たっては、一般会計からの補助金に対する依存度を下げていくためには、使用料の改定を含めた下水道使用料の増収及び支出の抑制に努めていくことが必要である。

なお、下水道事業を本町単独で継続していくには大きな財政負担を伴うことから、単独で事業を継続していくには限界があると思込まれるため、近隣町村との広域化について議論していくことが必要ではないかと考える。

- 注 1 文中及び各表中の金額で、千円単位（単位未満は四捨五入）で表示していることがある。そのため差額また合計額が円単位での実施と一致しない場合がある。
- 2 比率（％）については、原則として小数点以下第2位を四捨五入している。
- 3 表中等の△印はマイナスを表す。

別表 1

(単位：円)

損益計算書 (税 抜)			
営業収益・営業外収益		営業費用・営業外費用	
1. 下水道使用料	107,619,330	1. 汚水管渠費	15,448,927
2. その他の営業収益	30,000	2. 総係費	7,783,093
営業収益	107,649,330	3. 流域下水道維持管理負担金	82,514,312
		4. 減価償却費	159,096,320
		営業費用	264,842,652
1. 他会計補助金	126,259,000		
2. 長期前受金戻入	61,470,635		
3. 引当金戻入益	0	1. 支払利息	16,255,380
4. 雑収益	1,105,102	2. その他営業外費用	6,623,950
営業外収益	188,834,737	営業外費用	22,879,330
特別利益	5,067,935	特別損失	5,980,685
合計	301,552,002	合計	293,702,667
当年度純利益		7,849,335 円	

◎ 年度別単価及び事業量等の推移については次のとおりである。

(1) 年度別単価 (単位：円/m³)

年 度	R6
使用料単価	141.31

(2) 年度別事業量

年 度	R6	
処理区域内人口	5,369	
行政人口	8,198	
接続済人口	4,718	
接続済戸数	1,786	
水洗化率(接続率)	87.87	
汚水処理水量	年間	761,609
	日平均	2,087
有収水量	761,609	
有収率	100.0	

(3) 年度末における企業債未償還元金残高 (単位：千円)

年 度	R6
未償還元金残高	950,648

(4) 年度末における営業未収金額 (単位：千円)

年 度	R6
未収金額	2,342

(5) 一般会計からの補助金 (単位：千円)

年 度	R6
補助金額	126,259

(6) 現金預金保有高 (単位：千円)

年 度	R6
現金預金保有高	44,126

(7) 剰余金 (単位：千円)

年 度	R6
剰余金額	7,849